



サステナウィーク2025 取組団体一覧

北海道

取組に関する情報発信

- ・ コープデリ生活協同組合連合会

取組に関する情報発信

商品・サービスの紹介

イベントの開催

- ・ 北海道コカ・コーラボトリング株式会社

商品・サービスの紹介

- ・ 明治ホールディングス株式会社

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

関東

〔茨城県〕

取組に関する情報発信

- ・ フィード・ワン株式会社

商品・サービスの紹介

- ・ 三菱食品株式会社

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

〔栃木県〕

取組に関する情報発信

- ・ 株式会社ニッポン

サステナ
ウィーク
2025

〔群馬県〕

取組に関する情報発信

- ・ 株式会社ニッポン

サステナ
ウィーク
2025

〔埼玉県〕

商品・サービスの紹介

- ・ 鳩山あんず栽培加工組合

サステナ
ウィーク
2025

〔千葉県〕

取組に関する情報発信

- ・ 株式会社おひさま総合研究所
(チバニアン兼業農学校)

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

イベントの開催

- ・ 北総クルベジファーマーズ

サステナ
ウィーク
2025



サステナウィーク2025 取組団体一覧

関東

[東京都]

取組に関する情報発信

商品・サービスの紹介

・ あふ食堂

商品・サービスの紹介

・ 有限会社昭和食品

(築地 鮭の店)

取組に関する情報発信

・ 株式会社トップス

取組に関する情報発信

・ 株式会社日清製粉グループ本社

イベントの開催

・ 株式会社ニッポン

取組に関する情報発信

・ 日本航空株式会社

取組に関する情報発信

・ 森の環

[神奈川県]

商品・サービスの紹介

・ 株式会社日本アクセス

取組に関する情報発信

・ フィード・ワン株式会社

商品・サービスの紹介

・ 三菱食品株式会社

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025



サステナウィーク2025 取組団体一覧

中部

[新潟県]

取組に関する情報発信

- ・ コープデリ生活協同組合連合会



[富山県]

取組に関する情報発信

- ・ 株式会社clover farm



[富山県]

商品・サービスの紹介

- ・ オーガニックベース石川株式会社



[山梨県]

取組に関する情報発信

- ・ エスビー食品株式会社



[岐阜県]

イベントの開催

- ・ 株式会社折兼



[静岡県]

イベントの開催

- ・ 合同会社 アグリノ



取組に関する情報発信

- ・ 一般社団法人おから再活研究所



[静岡県]

商品・サービスの紹介

- ・ つむぎて農園



取組に関する情報発信

- ・ マミリカズ



イベントの開催

- ・ みのりの農園





サステナウィーク2025 取組団体一覧

近畿

[三重県]

取組に関する情報発信

- とば実

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2025

[京都府]

イベントの開催

- 日本農業株式会社

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

[大阪府]

取組に関する情報発信

- 大阪いずみ市民生活協同組合

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

イベントの開催

- 株式会社サンプラザ

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

- 三菱食品株式会社

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

[兵庫県]

取組に関する情報発信

- 株式会社日清製粉グループ本社

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

中国

[山口県]

取組に関する情報発信

- 株式会社ニッスイ

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

九州

[福岡県]

取組に関する情報発信

- NPO法人博多ミツバチプロジェクト

サステナ
ウィーク
2025

取組に関する情報発信

- フィード・ワン株式会社

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025



サステナウィーク2025 取組団体一覧

九州

[佐賀県]

イベントの開催

- ・クオックロップ株式会社

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

[大分府]

商品・サービスの紹介

- ・NPO法人北九州・魚部

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

[宮崎県]

取組に関する情報発信

- ・株式会社杉本商店

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

全国

商品・サービスの紹介

- ・AGBIOTECH株式会社

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

- ・株式会社アースコーポレーション

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

取組に関する情報発信

商品・サービスの紹介

- ・エスビー食品株式会社

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

取組に関する情報発信

- ・オイシックス・ラ・大地株式会社

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

取組に関する情報発信

- ・コープデリ生活協同組合連合会

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

取組に関する情報発信

- ・昭和産業株式会社

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

- ・株式会社 だいちデイズ

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

- ・壤結合同会社

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

取組に関する情報発信

商品・サービスの紹介

- ・株式会社日清製粉グループ本社

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025



サステナウィーク2025 取組団体一覧

全国

商品・サービスの紹介

取組に関する情報発信

・株式会社ニッスイ

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

イベントの開催

・株式会社ニッポン

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

イベントの開催

・株式会社日本アクセス

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

イベントの開催

・一般社団法人日本協同組合連携機構

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

・日本農業株式会社

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

商品・サービスの紹介

・一般社団法人日本有機資源協会

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

取組に関する情報発信

・フィード・ワン株式会社

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

取組に関する情報発信

商品・サービスの紹介

・森永乳業株式会社

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

海外

取組に関する情報発信

・明治ホールディングス株式会社

サステナ
ウィーク
2020

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2022

サステナ
ウィーク
2023

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

取組に関する情報発信

・森永乳業株式会社

サステナ
ウィーク
2021

サステナ
ウィーク
2024

サステナ
ウィーク
2025

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
北海道				
コープデリ生活協同組合連合会	取組に関する情報発信	産直はなゆき農場有機牛の取り組み	私たちの食卓に並ぶお肉。「国産」のお肉であっても、飼料の大半は輸入に頼っており、牛肉の場合はわずか9%です。また国内の生産者は高齢化し、後継者が不足しています。日本の畜産業は今、「低い飼料自給率」と「担い手不足」の課題に直面しています。コープデリは、持続可能な食料生産を目指し「産直はなゆき農場有機牛」の取り組みを通じて、「食料自給力の向上」と「担い手の育成」にチャレンジしています。サステナアワード2023の動画もぜひご覧ください。	参照リンク先① 参照リンク先②
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	商品・サービスの紹介	PETボトルの水平リサイクル	使用済みPETボトルを回収・リサイクル処理したうえで、新たなPETボトルに再生する水平リサイクル「ボトルtoボトル」を推進し、プラスチック資源の循環利用に取り組んでいます。また、当社独自で「はずす はがす かえす」のキャッチフレーズを導入し、分かりやすく行動変容を促すことで、プラスチック循環型社会の実現に向けた啓発活動を行っています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	廃棄物の再資源化と活用	工場から排出される全ての廃棄物を再資源化する「ゼロエミッション」活動に取り組み、2001年から目標を100%達成しています。飲料製造の際の副産物であるコーヒー豆のかすや茶かすは堆肥になるほか、一部は2020年8月より株式会社カーム角山との協働事業として、コーヒー豆のかすを牛の敷き藁として使用し、使用済みの敷き藁はバイオマス発電原料にも活用されています。また、茶かすは家畜用飼料エコフィードの研究のために酪農学園大学へ提供しています。エコフィードは廃棄物量の削減のほか安心安全な食肉生産という観点からも持続可能な社会の構築に寄与するものです。	参照リンク先
	イベントの開催	アップサイクルを学ぶコーヒー石けん作り	コーヒー製品を製造する際の副産物であるコーヒー豆のかすをスクラブとして活用した【コーヒー石けん作り】を通して、アップサイクルを体験するプログラムを開催しています。地球のために私たちが今日からできることは何かを考え、自分ごととして捉えてもらえるよう、SDGsや当社のリサイクルの取り組みについても紹介しています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	社会福祉施設へ製品を寄贈	北海道にお住まいのお子様・高齢者をはじめとする皆さまが安心して暮らせる社会をサポートするために、社会福祉施設を通じて製品配布を行うとともに、賞味期限間近の当社製品を寄贈することでフードロス削減を目指し寄贈しています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	コミュニティ・フリッジへの製品寄贈	北海道にお住まいの皆さまが安心して暮らせる社会をサポートするために、コミュニティ・フリッジを通じ生活の支援を必要とする方々に製品配布を行うとともに、賞味期限間近の当社製品を寄贈することでフードロス削減を目指し寄贈しています。 ※コミュニティ・フリッジとは24時間無人で稼働するフードバンク施設で、食料品・日用品の支援を必要としている人たちが、時間や人目を気にせずに、開館時間内で都合がいい時に食料品や日用品を取りに行くことが可能です。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	水資源保全への取り組み	貴重な水資源を利用して事業活動を行う企業として、製品に使用した量と同等の水を自然に還元する取り組みを進めており、水使用量の削減「リデュース（Reduce）」、製造過程で使用する水の循環「リサイクル（Recycle）」、地域の水源涵養「リプレニッシュ（Replenish）」の3つの「R」を掲げています。取り組みの1つとして、水源である札幌市清田区にある白旗山への植樹などの森づくり活動を通じて水源の涵養能力を高めることで、自然への還元を図っています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	北海道e-水プロジェクトの推進	北海道と当社との間で締結された「環境保全に関するパートナーシップ協定」に基づき、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守るために、「い・ろ・は・す 北海道の天然水 540mlPET・950mlPET」の売上の一部を（公財）北海道環境財団に寄付し、道内各地で水辺の環境保全活動に取り組む団体を支援します。また、当社も活動団体として植樹ならびに下草狩りや苗木の育成などの育樹活動も実施しています。	参照リンク先
三菱食品株式会社	商品・サービスの紹介	昆布の端材を活用した商品の開発	北海道広尾町で漁師を営む保志様と、昆布漁が抱える課題解決および地域産業の発展に向け、元は捨てられてしまう「屑」と呼ばれる昆布の端材を粉砕加工した「星屑昆布」（商標）を活用する取り組みを進めており、その取り組みの一環として、「星屑昆布餅」と「アウトドアスバイスほりにしほしくず」を開発し、販売しています。	参照リンク先
明治ホールディングス株式会社	商品・サービスの紹介	明治オーガニック牛乳～循環型農業の推進～	明治グループでは、有機JAS規格の認証牛乳である「明治オーガニック牛乳」を製造販売しています。北海道網走郡津別町にある指定牧場で、有機農法の考え方に基づいた方法で飼育された乳牛から搾った生乳のみを使用しています。有機酪農は、環境への負荷低減に配慮した有機飼料での飼育、牛にやさしい環境での飼育という観点に配慮して行う酪農です。環境や牛の健康にも配慮した酪農を支援しながら、新しい牛乳の価値を提供していきます。	参照リンク先
関東				
茨城県				
フィード・ワン株式会社	取組に関する情報発信	食品ロスの活用による資源循環型社会の実現	フィード・ワン株式会社では、鶏や豚を育てるための配合飼料の原料の一部に、コンビニエンスストア等から発生するお弁当などの食品ロスを乾燥加工した「フライドミール」を有効利用しており、これにより食品リサイクルに貢献しています。	参照リンク先
三菱食品株式会社	商品・サービスの紹介	規格外のメロンを使用したケーキの開発	茨城県産メロンの「規格外品」を原料にしたレアチーズケーキを開発し、茨城県を含む関東エリアを管轄するコープデリ生活協同組合連合会様にて発売しました。	参照リンク先
栃木県				
株式会社ニッポン	取組に関する情報発信	おやまっこ応援マルシェ支援	ニッポンスポーツ社のある小山市と食を通じて子ども支援活動促進の連携協定を締結し、同市内の「こどもの居場所、こども食堂」へ当社品を毎月寄贈しています。	参照リンク先

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
群馬県				
株式会社ニッポン	取組に関する情報発信	森林保全勉強会と水源涵養植樹イベント	当社は、小麦をはじめとする穀物や野菜など、さまざまな自然の恵みを受けており、マテリアリティの一つに「環境保護への取り組み」を掲げております。 その取り組みの一環として、森林の持つ多面的機能、水資源の維持、生物多様性の保全の重要性について、社員の知識向上と意識啓発を図ることを目的に、勉強会と植樹を昨年10月に実施しました。 植樹に向けて行った森林と森林資源に関する勉強会では、日本製紙グループより水源涵養機能、森林のCO2吸収やカーボנקレジット、企業による植林活動等について講演していただきました。また、植樹では当社社員21名がカラマツの苗240本をみなかみ町須田貝山林に植えました。今年は、勉強会を9/16に、植樹イベントを10/29に実施します。当社は、今後も事業活動が自然の恩恵に支えられていることを意識し、サステナビリティの取り組みに一層注力してまいります。	参照リンク先
埼玉県				
鳩山あんず栽培加工組合	商品・サービスの紹介	摘果あんずを加工品にアップサイクル	あんず栽培の過程で4月中旬から「摘果」という作業を行います。 摘果とは、あんずの実を成長させるために、隣り合っている、小さな緑色の未熟果あんずを落とす作業のことです。 これまでは廃棄されていた「摘果あんず」の活用に昨年より力を入れており、グリーンアップリコットジャム（摘果あんずジャム）を開発しました。 現在、埼玉県子ども動物自然公園のみで試験販売を行っておりますが、今後は販路拡大や、開発途中の他の加工品の安定販売を目指しています。 摘果あんずを加工品へアップサイクルし、小売や業務用で売上を上げることで、得た利益を苗木の購入に充てて木の本数を増やし、持続可能なあんず栽培を実施していくことで、自然と共生する町の自然環境を守っていくことを目標としています。	HP更新中
千葉県				
株式会社おひさま総合研究所 （チバニアン兼業農学校）	取組に関する情報発信	自然栽培授業の実施	定期的に自然農法の授業を組み入れ、サステナブルな農業の普及活動を行っている。	参照リンク先
北総クルベジファーマーズ	イベントの開催	さつまいも掘とパイオ炭作り体験＆BBQ	昨年大好評!!今年もやります。 秋だ!さつまいも堀&クルベジ炭作りBBQ開催します。 開催日 10月26日（日） ゆうきクルベジ農場では、「未来の子供たちに確かな未来を残そう」をテーマにパイオ炭を使って農地でCO2削減を行っています。 竹や間伐材などでパイオ炭を作って畑に埋めるとCO2削減につながります。 畑に埋めた炭は、CO2削減をするだけでなく土を良くするので元気な野菜が育ちます。街の人々がその野菜を選んで買って頂くと里山活動、農家さんの応援につながりひいては健やかな身体と未来につながります。今年は、LFCファーマーにも加入し、ご家庭で育てた生ごみ堆肥を回収して土作りをしています。 今回は、四街道の梨の剪定枝で炭を作って、炭で育てたさつまいもを皆で掘りましょう。 お昼には、焼きいもやクルベジ野菜のBBQをご用意いたします。 秋を楽しく満喫しましょう!!	参照リンク先
東京都				
あふ食堂	イベントの開催	「みえるらべる」農産物を使ったメニューの提供	農林水産省本館B1にある、あふ食堂では、10月20日から「みえるらべる」を取得した米を使ったメニューの提供を行います（無くなり次第終了）。 農林水産省食堂は、一般の方もご利用できます。	参照リンク先
	商品・サービスの紹介	持続可能な農産物を使ったメニューの提供	農林水産省本館B1にある、あふ食堂では、10月20日から「みえるらべる」を取得した米を使ったメニューの提供を行います（無くなり次第終了）。 農林水産省食堂は、一般の方もご利用できます。	参照リンク先
有限会社昭和食品 （築地 鮭の店 昭和食品）	商品・サービスの紹介	海洋プラスチックゴミ原料の商品販売	海洋プラスチックゴミを原料としたお魚型のペンダントを販売することにより、海洋汚染への気づきになればと思っています。美しく再生したペンダントを身に着けることで、海の再生について考えていただきたいです。	参照リンク先
株式会社日清製粉グループ本社	取組に関する情報発信	サステナブルな食事を社員食堂で	日清製粉グループでは、食事を通じてさまざまな社会課題に触れ、日常生活での消費行動の変容に繋げてもらう取組みの一つとして、本社地区の社員食堂でサステナブルな食事を定期的に提供しています。本年度はサステナウィークイベントを開催し、「ケージフリー卵」や「大豆ミート」、「BAP認証取得の魚介類」、「製造工程の副産物を肥料に活用した農産物」等を使用した食事を1週間連続で提供し、エシカルな食材の認知向上に努めました。	参照リンク先
株式会社トップス	取組に関する情報発信	みなと子ども食堂様への菓子提供	NPO法人みなと子ども食堂様が実施されているフードパントリーには、これまでチョコプレートを提供してきましたが、今回はクッキーを提供させていただきます。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	廃棄ロス削減のための飼料化推進	洋生菓子を製造している工場において、スポンジの切り落とし部分をはじめ各工程で発生する廃棄ロスについて、飼料化を行う業者と提携して削減に取り組んでいます。	参照リンク先
株式会社ニッポン	イベントの開催	番町SJEマルシェ食品配布就労体験協賛	「番町 SJE マルシェ」は、千代田区のボランティア団体「番町 SJE マルシェ実行委員会」（一般社団法人 HAKKEN）が主催するイベントで、ダウン症などの知的障がいのある方々の就労体験を通じて、地域の子どもたちとの交流や街の活性化を目指しています。SJE は、Sustainable Job Experience（持続可能な就労体験）を意味します。 当社はこのマルシェの趣旨に賛同し、10/18(土)に今回で65回目となる協賛をいたします。今回のマルシェでは、当社商品のフードロス削減も兼ねたサンプリングイベントを通じて知的障がいのある方々に就労体験の機会を共に創出します。	参照リンク先

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
日本航空株式会社	取組に関する情報発信	規格外の野菜を使用した凸凹スープ	日本航空では、歩留まり改善や調理残渣のリサイクルなどの自社の食品廃棄の削減だけでなく、サプライチェーンでの食品廃棄削減にも取り組んでいます。 サプライチェーンでは、例えばブロッコリーやアスパラガスの茎、玉ねぎの皮などは、調理を工夫することで美味しく食べられるにもかかわらず「非可食部」として廃棄されています。また生産者の方が愛情を込めて育てたにもかかわらず、大きさや形などが理由で「規格外」として廃棄されてしまいます。私たちは非可食部や規格外の作物を使用し調理を工夫することで、サプライチェーンの食品廃棄削減に取り組んでいます。これらは凸凹スープ(“Farmer’s Soup”)というメニューで、羽田・成田のラウンジにて継続的に提供しています。現在は廃棄される魚のアラを活用したものを提供しております。弊社のラウンジをご利用の際はぜひご賞味ください。	参照リンク先
森の環	取組に関する情報発信	都内高校生と地方の循環型農業を考える。	森の環では、2018年の商号変更から農業に新しい価値を創造して、地球の健康の貢献に取り組んでいます。太陽光や地下水熱の再生可能エネルギーの活用や包材の変更等に加え、廃菌床等の未利用資源を活用した新しい循環型農業に取り組んでいます。 2024年から都内の高校生の『まちづくり』ゼミのみなさんと菌床シイタケ等の地域のお祭りや文化祭での販売等を通じて、地方の農業やまちづくりについて連携しており、継続的に活動の幅を広げています。	参照リンク先
神奈川県				
株式会社日本アクセス	商品・サービスの紹介	循環型リサイクルシステム	物流倉庫で排出された「使用済みストレッチフィルム」を再資源化し、物流センターで使用する「ゴミ袋」に再利用するシステムを構築し導入を開始しました。	参照リンク先
フィード・ワン株式会社	取組に関する情報発信	食育講習会の開催・食育サイトの公開	フィード・ワン株式会社では、毎年、地域の小・中・高校生を対象として食育講習会を開催し、「食の正しい知識」と「食の大切さ」を楽しく学ぶ機会を設けています。また、自社ホームページの「フィード・ワンを知る・学ぶ」において、畜水産物を選択するための知識を提供しています。国産・輸入品との違い、天然・養殖との違い、栄養等に関する知識を若い年代の方々に伝えることで、自身で食を選択する力や健康への意識等を養うお手伝いをしています。	参照リンク先①
	取組に関する情報発信	持続可能な養殖業実現に向けた取り組み	フィード・ワン株式会社では、天然の海洋資源に頼らない無魚粉飼料を販売しています。世界的な天然の海洋資源の枯渇問題が深刻化する中、一般的な養殖用の飼料は天然魚から生成する魚粉を主な原料として使用しています。当社が開発した「無魚粉飼料」は魚粉を使用しておらず、持続可能な養殖業実現の一助となっています。	参照リンク先②
三菱食品株式会社	商品・サービスの紹介	未利用玉ねぎを活用した商品の開発	カット野菜工場での加工過程で発生する未利用部分の玉ねぎを使用した「玉ねぎ醤油ドレッシング」を開発し、富士シティオ様の店舗にて発売しました。	参照リンク先
中部				
新潟県				
コープデリ生活協同組合連合会	取組に関する情報発信	佐渡トキ応援お米プロジェクト	コープの産直米の産地、新潟県佐渡市では、トキをはじめとするさまざまな生きものと共生する農業に取り組んでいます。 2010年にスタートした佐渡トキ応援お米プロジェクトは、「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリ」とその加工品の売り上げの一部を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付し、トキやさまざまな生きものたちと共生する、環境にやさしい農業を応援する取り組みです。 佐渡のお米を食べることが、生きものを育む環境づくりやトキと共生するお米作りの応援につながります。	参照リンク先
富山県				
株式会社clover farm	取組に関する情報発信	clover farmの軌跡とビジョン	2015年に第三者承継により譲り受けた牧場で、HAPPY DAIRY COWSを理念とし、100年後も酪農が必要とされ続ける社会を作るために活動を続けています。農村と町の間に立地する農場を活かし、町で出る食品廃棄物のエコフィードとしての活用と、水田で出る稲わらの飼料利用、条件不利農地での飼料生産に加え、堆肥の農地還元を行い、資源循環や温室効果ガス低減につながる取り組みを行っています。町の資源循環と農村の資源循環という二つの輪をつなぐ存在として酪農業を活かしていくことにより、乳牛の価値を創造し、社会になくてはならない牧場として乳牛の幸せを高めます。	参照リンク先
石川県				
オーガニックベース石川株式会社	商品・サービスの紹介	みえるらべる表示のさつまいもおやつ販売	見える化シールを頂戴した有機栽培のさつまいも(シルクスイート)を原材料に地元金沢の名店「甘納豆かわむら」さまにてお芋のお菓子を製造販売します。	参照リンク先
山梨県				
エスピー食品株式会社	取組に関する情報発信	山梨県道志村「わさび田」の復興	エスピー食品は山梨県道志村で放置されていた「わさび田」跡の復興と、そこでの沢わさびの栽培試験を開始しました。わさび田に関する技術・知見をもった人財の育成や、生産現場の課題抽出・解決への取り組みを通じて、国内の持続可能なわさび生産に貢献します。	参照リンク先
岐阜県				
株式会社折兼	イベントの開催	SDGsキッズスタートアドベンチャー	イベントの食事で使用したバガス容器を回収、改修後のバガス容器は土壌改良剤として使用する「バガスフードサイクリング」を実施します。	参照リンク先
静岡県				
合同会社 アグリノ	イベントの開催	バイオ液肥を使用したさつまいも栽培	さつまいも栽培に化学肥料を使用せず、牛糞由来のバイオ液肥でサツマイモを栽培栽培したサツマイモは、干し芋として加工、販売予定。	参照リンク先
	イベントの開催	荒廃農地の再生	荒廃した農地を再生させ、本来の農地に戻す 有益な微生物を活用した農業を目指す。	参照リンク先

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
一般社団法人おから再活研究所	取組に関する情報発信	おからで簡単！みそ作り	火を使わずに、混ぜるだけの簡単にできるみそ作りを、弊社の講師の先生方がワークショップとして通年開催しております。その様子をInstagramやF Bにて発信しております。火を使わないことで「とめよう温暖化」。おからを廃棄せず、全部使い切ることで「へらそうゴミ」。そして講師の先生が多くの方にお伝えして喜んでいただくことで「みんなで支え合おう」。 楽しく作って、お伝えして、美味しくいただく日本の伝統食…そしてそれを今後も美しい地球を維持してゆくために次世代に継承してゆければと考えております。	参照リンク先
愛知県				
つむぎて農園	商品・サービスの紹介	持続可能な循環型農業	自然栽培、有機栽培で通年野菜の栽培とともに、農家カフェを営んでいます！ 自社農園と地元の農家さんから仕入れたお野菜やお肉を中心としたランチとお弁当を提供しています。 規格外のお野菜などを積極的にメニューに使っています。 ごみ削減のため、生ごみコンポストを使いながら、資源の循環を心掛けています。	つむぎて農園 家カフェ つむぎてや
マミ리카ズ	取組に関する情報発信	日本みつばちの保護活動	インスタ、Facebook、Xで日本みつばちの状況を報告しています。在来種の日本みつばちの養蜂活動を通じて生物多様性の保全に努めます。	参照リンク先① 参照リンク先②
みのりの農園	イベントの開催	浄水マルシェ出店	みのりの農園で栽培した農作物は”すべて食べ尽くす”をモットーにやっています。農作物の販売から、うちの米で作った甘酒をはじめ夏はピーマンと米麹を炊いたピーマン味噌、冬はねぎ味噌、季節のお惣菜まで食べ尽くす販売をしています。	
近畿				
三重県				
とば実	取組に関する情報発信	肥料を入れない無肥料栽培で有機JAS	一切の肥料を圃場に持ち込まない無肥料栽培圃場で有機JAS認証をとっております。草を大量に生やし有機JASで認められて農業を最小限使ってCO ₂ の排出をおさえ、光合成でCO ₂ とH ₂ Oから糖を構成してO ₂ 酸素を放出して、SDGsに貢献できる栽培法を推進しております。	参照リンク先
京都府				
日本農業株式会社	イベントの開催	「たんとファーム」みんなで有機農業実践	たんとファームは、京都府亀岡市・南丹市の自然豊かな里山にあります。自然や生き物を大切に、農業や化学肥料を使わずにお米・お野菜を栽培しています。 自然豊かな農地で種を蒔き、土・水・太陽などの自然の中で野菜を育てる循環型の農業を実践することで、土中にある微生物が増え、土が肥沃になります。 「これからの日本の未来のために、農業就農者を増やしたい」そんな思いで、毎月不定期ですが有機農業実践として参加者を募集しています。年々仲間も増え、様々な事に挑戦しています。 直近では、11月2日(日)に稲刈りが体験できる収穫祭を開催いたします！ 駅前に広がる農地でアクセスもしやすいですので、この機会には是非ご参加いただけたらと思います。	参照リンク先
大阪府				
大阪いずみ市民生活協同組合	取組に関する情報発信	お店でのフードドライブのとりくみ	大阪いずみ市民生活協同組合では、家庭であまっている食品を持ち寄り、フードバンクを通じて、子ども食堂や福祉施設、ボランティア団体などに寄付しています。店舗サービスコーナー付近に常設している専用ボックスにて受け付けています。ご提供いただきたい食品の条件等についてはHPをご確認ください。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	食品リサイクル・ループのとりくみ	大阪いずみ市民生活協同組合では、店舗の売れ残りや宅配の農産加工室などから出る食品廃棄物を、たい肥にリサイクルし、畑で野菜作りに利用して、できた野菜をコープの店舗や宅配で販売するループを作り、まわしています。	参照リンク先
株式会社サンプラザ	商品・サービスの紹介	「みえるらべる」商品の販売	有機JAS農産物や特別栽培農産物をはじめ農業、化学肥料の使用量を1/2以下に抑えた大阪エコ農産物や農林水産省で取り組みをしている「みえるらべる」農産物の展開と販売を実施。 「みえるらべる」取得のお米を使用したお弁当やおにぎりの販売も実施。 GAPの訴求や大阪版CFPの表示、デジタルサイネージでの情報発信も行う事で、環境負荷低減に寄与する商品や取り組みを地元消費者に知って頂き、地球環境保護や食環境の改善について考えるきっかけにしてください。	参照リンク先
	イベントの開催	おおさかCO ₂ CO ₂ ポイント+との運動	脱炭素の取り組みとして大阪府が実施している「おおさかCO ₂ CO ₂ ポイント+」の取り組みを活用して、有機JAS農産物や「みえるらべる」の訴求強化も実施。おおさかCO ₂ CO ₂ ポイントは、環境負荷低減に寄与する農産物に、サンプラザのお買い物で使用出来るポイントを通常ポイントから更に上乗せで付与することによって、脱炭素の取り組みを知って頂きつつお買い上げいただく事で、地元消費者に温室効果ガス削減の取り組みに参加頂くという取り組み。ポイント付与対象商品に有機JAS農産物や「みえるらべる」商品も設定することで、SDGsに関係する様々な取り組みと連動した訴求を行う事で発信力の強化に取り組む。	参照リンク先
三菱食品株式会社	商品・サービスの紹介	規格外のメロンを使用したチューハイの開発	生産量が少なく、流通期間が短いため「幻のメロン」と呼ばれている「矢野メロン」の規格外品を缶チューハイの原料として使用し、矢野メロンチューハイを開発、スーパーマーケット万代様で販売しました。	参照リンク先
兵庫県				
株式会社日清製粉グループ本社	取組に関する情報発信	パティシエを目指すチャレンジを支援	日清製粉株式会社は年齢や性別、障がい、文化等の違いにかかわらず、一人ひとりが持てる力を発揮し活動できるユニバーサル社会の実現に貢献するため、パティシエを目指すチャレンジ（障がいのある方）を支援するプロジェクト「神戸スウィーツ・コンソーシアム（KSC）」を、2008年より社会福祉法人プロップ・ステーションと共催で実施しています。本年度は、神戸、東京、大阪で講習会を開催いたします。	参照リンク先

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
中国				
山口県				
株式会社ニッスイ	取組に関する情報発信	アップサイクル官民連携事業に参加	ニッスイは、2021年度より山口県と株式会社丸久およびテラサイクルジャパン合同会社などと、官民連携事業"ONE FOR OCEAN"に取り組んでいます。"ONE FOR OCEAN"は、山口県の海岸清掃で回収された海洋プラスチックごみを買い物かごにアップサイクルすることを通じて海洋ごみ問題の認知を図ることを目的としています。清掃活動で回収された海洋プラスチックの一部を使用した「アップサイクル買い物かご」が、丸久グループ店舗や道の駅など県内14か所で使用されています。	参照リンク先
九州				
福岡県				
NPO法人博多ミツバチプロジェクト	取組に関する情報発信	ミツバチが飛び交うまちは良いまちである	博多ミツバチプロジェクトは、都市部を中心に養蜂活動をおこない、ニホンミツバチの保護と生態系の維持に貢献しています。私たちは、福岡市内のビルの屋上などでニホンミツバチを飼育し、都市部の緑化を促進するとともに、食の安全や環境問題への関心を高めるための活動を行っています。この取り組みは、花粉媒介者であるミツバチの生息環境を守ること、都市の生物多様性を豊かにします。また、採れた蜂蜜の販売を通じて、食品ロス削減や地産地消の推進にも繋がります。さらに、環境学習やイベントを定期的に開催し、市民が自然と触れ合う機会を提供することで、持続可能な社会への意識向上を図っています。	参照リンク先
フィード・ワン株式会社	取組に関する情報発信	再生可能エネルギーの導入	フィード・ワン株式会社では気候変動対策の推進として、北九州水産工場、北九州畜産工場、研究所福島リサーチセンターの計3拠点において使用電力の100%再エネ化を達成し、CO2排出量の削減に寄与しています。	参照リンク先
佐賀県				
クオックロップ株式会社	イベントの開催	リジェネラティブティープログラム	嬉野には、500年の歴史を誇る「うれしの茶」があります。 和多屋別荘では、この貴重な文化資本を未来につなぐため、10年以上にわたり生産者とともに様々な取り組みを進めてきました。 特に、ティーツーリズムを軸に「うれしの茶」の魅力を可視化し、新たな経済価値を創出する活動は、国内においても先進的な事例と評価されています。 一方で、わたしたちの経済活動や文化資本の礎となる自然資本には様々な課題が顕在化しており、待ったなしの対応が求められています。 嬉野のツーリズムや「うれしの茶」も更なる進化を目指し、クオックロップ、イノベーションパートナーズと連携、世界基準に照らして科学的に現在地を把握し2050年に向けた具体的なアクションを進めていきます。 その第一歩として、Regenerative Tea Program「1杯の素晴らしい消費」から「1杯の再生につながる体験」へを嬉野から始動します。	参照リンク先
大分県				
NPO法人北九州・魚部	商品・サービスの紹介	温泉付一棟貸宿 亀川オンセンゴマツボ荘	日本の代表的温泉地から、温泉自体や別府の新たな魅力を探る「人と温泉と生き物と」プロジェクト！ 別府八湯の亀川温泉が舞台。 風土や歴史、人々（暮らし）と、土地の生き物や自然とを融合して、町を見つめ直し、活力にしていこうとする。 1) 亀川の生き物・自然調査 ①オンセンゴマツボ調査 大分県とも協働。亀川での月例調査は足掛け4年、35回以上にのぼる。 ②その他温排水や湧水、その他の陸水域での生物調査。 2) 空き家を活用し、固有の生き物「オンセンゴマツボ」の名を冠した温泉付一棟貸宿を地域住民と運営。 地域に外から人を呼び込む装置であるとともに、マイナー地域の独自種の名を社会的に一般化して興味喚起も狙う。 3) ペップアートマンスに3年連続参加し、亀川でユニークな生き物×音楽イベント企画。 4) 小さな自然再生として、ピオトープの手法で地域の原風景を宿の敷地に創出。専門家である中島淳氏との協働。	亀川オゴマ荘公式サイト 亀川生き物通信「春編」 亀川生き物通信「夏編」
宮崎県				
株式会社杉本商店	取組に関する情報発信	椎茸栽培で若々しく蘇る里山	1000年続く椎茸栽培が、豊かな里山の自然をどのように維持しているのか？ 椎茸の原木栽培は、椎茸菌・クヌギ・人間・クワガタが協働で、生物多様性が豊かな里山の自然を作り上げています。まずはその概要をご説明します。 椎茸菌：美味しくて身体に良い椎茸を実らせて、人間が間伐で里山を維持する情熱を与えます。 クヌギ：切り株から自然と発芽して成長するので、伐採しても約15年で里山を再生します。 人間：間伐という労力を提供して里山の生物多様性を持続していきます。 クワガタ：用役済み原木を噛み砕いて発酵させ良質な土壌に還し、森林再生に深く関与します。 豊かな里山の自然がどのように維持されているのか、以下詳しく解説していきます。	参照リンク先

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
全国				
AGBIOTECH株式会社	商品・サービスの紹介	玄米ごはんバック 穂稀	穂稀の原料である玄米は、栽培期間中に農業や肥料を一切使用せずに育てられています。この栽培方法により、農林水産省が推進する環境負荷低減の「見える化」において、温室効果ガス削減で三つ星、生物多様性保全でも三つ星の評価を取得しています。	参照リンク先
AGBIOTECH株式会社	商品・サービスの紹介	Private Bio Farm	Private Bio Farm（プライベート ビオ ファーム）は、環境保全型農業に取り組む生産者とユーザーを直接つなぐプラットフォームです。 参加する農園（ビオファーマー）はすべて、肥料や農薬の使用を制限するなど、弊社独自の基準に基づいた「環境負荷の少ない持続可能な栽培方法」を実践しています。 ユーザーは自分専用の契約農家を持つだけでなく、作付け体験を通じて自ら植えた野菜をビオファーマーが育て、その収穫物が食卓に届くといった、食と農業のつながりを実感できる体験を楽しむことができます。	参照リンク先
株式会社アースコーポレーション	商品・サービスの紹介	GAP認証産地の育成と販売	株式会社アースコーポレーションでは、農家（産地）と共に作り共に販売する「共業生産」というコンセプトを持っています。GAP認証農場を増やすことで地球環境にやさしい農業が実現できます。また、認証を取っても販売がネックになっている産地が全国に多くあります。認証取得だけで終わらず、販売までトータルしてサポートすることで環境にやさしい農業をしながら、経営も強い産地作りをして美味しい野菜を全国に流通させています。	参照リンク先
エスビー食品株式会社	取組に関する情報発信	持続可能な未来に種をまこうプロジェクト	安全・安心・環境に配慮した有機 JAS 認証スパイスシリーズ「ORGANIC SPICE」の、お客さまによる動画視聴や商品の購入を通じて、当社が環境保全団体への寄付を行う企画です。本プロジェクトを通じて、多くの方に気軽に“未来への種まき”に参加いただき、持続可能な生産と地球環境への貢献を目指します。	参照リンク先
	商品・サービスの紹介	アップサイクル製品の開発	エスビー食品は、「健康的でしあわせな暮らしへの貢献」と「地球環境への貢献」の実現に向け、おいしさだけでなく、エスビー食品だからできる健康的な食物素材の残渣や余剰を活用するアップサイクル製品を提供していきます。第1弾として2024年に発売した「本鶏だし」を皮切りに、未活用食材の有効活用によるアップサイクル製品を通じた社会貢献を目指していきます。	参照リンク先
オイシックス・ラ・大地株式会社	取組に関する情報発信	Oisixサステナイズ	Oisix25周年の活動のなかでのサステナブルな取り組みの紹介ページの中の特設サイトにて5問のクイズを答えながら、温暖化やフードロス削減、貧困問題についてを知っていただきます。	参照リンク先
コープデリ生活協同組合連合会	取組に関する情報発信	サステナウィーク特設サイト	コープデリグループではサステナウィーク2025の期間中、特設ページを開設します。コープデリグループの提供する、食料や農林水産業の持続的な生産消費に関する各種サービスや取り組みを通じた、サステナブルな消費に向けた「小さな一歩」や、何を買えば良いかのヒントをご紹介します。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	コープデリ・ワンディッシュスープ	さまざまな商品を製造する際に発生する、原料の未利用部分。たとえばパッケージサラダの製造過程で発生したキャベツの芯や、ジュース製造過程で発生したにんじんやりんごのバルブなどは、これまで廃棄されていました。 コープデリミールキットの副菜として販売しているコープデリ・ワンディッシュシリーズのスープは、これらの未利用部分を活用し、滋味深い野菜のおいしさを引き出しました。季節感のあるスープなど楽しさを感じられるラインナップを拡充して、組合員から好評の声をいただいています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	フードドライブの取り組み	コープデリグループの会員生協は、店舗や組合員施設に専用の食品回収ボックスを設置したり、イベントでフードドライブを呼びかけたりして、個人が家庭などから持ち寄った食品をフードバンク等に寄贈するフードドライブ活動に取り組んでいます。 一人でも多くの食品を必要とされる方へ支援を届けるために、地域のフードバンクとの連携を強化し、専用ボックスの設置場所を増やしています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	気候変動への対応	CO2削減（TCFD提言への対応） 昨今、気候変動が社会、企業活動に与える影響は非常に大きくなっています。昭和産業グループは「穀物ソリューション・カンパニー」として、大地の恵みである穀物を多種多量に扱っており、特に気候変動は社会が直面し、対応が急務である重要な課題の一つとして認識しています。当社グループは、TCFD提言に沿って「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理」、「指標と目標」の4項目の情報開示を進め、ステークホルダーの皆様と積極的な対話を図っていきます。	参照リンク先
昭和産業株式会社	取組に関する情報発信	環境負荷の低減	地球環境の悪化は、当社グループの主原料である穀物調達における大きなリスクであり、環境負荷低減に向けた取り組みは当社グループのマテリアリティの一つです。「昭和産業グループ環境目標」の確実な達成に向け、「中期経営計画23-25」の最終年度となる2025年度の目標値を設定しました。 「CO2排出量削減」、「食品ロス削減」「水使用量削減（原単位）」に加えて、環境への取り組みを加速させるため、4つ目の環境目標として新たに「プラスチック使用量削減（原単位）」の目標を設定しました。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	スマートプラスチックアクション	地球環境問題に思いを込めて 昭和産業では様々な取り組みを行っています。 水分や酸素を通しにくく、軽くて丈夫で加工しやすいことから、幅広い用途で使われているプラスチック。スーパーやコンビニで配られるレジ袋もその一つですが、昭和産業でもプラスチックをパッケージに使用している商品は少ないと言えず、これらの多くは使い終わったら"ごみ"となり、環境に負荷を与えていることは否めません。 そこで、昭和産業ではパッケージの環境負荷をできるだけ少なくすることを目指し、環境に配慮したパッケージを開発したり、社員にオリジナルエコバッグを配布するなどの活動を行っています。また、農林水産省の「プラスチック資源循環アクション宣言」に参加し、廃棄物の再資源化や地域の清掃活動の3R（Reduce リデュース、Reuse リユース、Recycle リサイクル）などの推進活動にも取り組んでいます。	参照リンク先

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
昭和産業株式会社	取組に関する情報発信	食品リサイクル率99.9%の取り組み	昭和産業は1936年の創立以来、大地の恵みである小麦、大豆、菜種、トウモロコシなどの穀物を余すところなく、小麦粉、プレミックス、植物油、糖化製品、配合飼料などに加工して皆様の食生活にお届けする事業に取り組んできました。製粉、油脂食品、糖質事業から発生する副産物※1を配合飼料原料として有効活用することにより環境負荷の少ないビジネスモデルを実現。持続可能な社会作りに向けて様々な取り組みを行っています。 ※1 ふすま、大豆ミール、菜種ミール、グルテンフィードなど	参照リンク先
	取組に関する情報発信	地域との共生（CSR活動）	企業市民活動 フードバンク支援 出荷期限を過ぎた製品は賞味期限内であっても処分していましたが、社会福祉施設で活用していただく取り組みを推進しています。 当社は、こうしたフードバンク機関やサプライチェーンでの連携を強化することで、食品ロス削減に取り組んでいます。 寄付寄贈・復興支援活動 当社では、スポーツ団体への食生活応援を目的とした食材の提供や、被災された方々の支援及び被災地の復興にお役にいただくための活動などに取り組んでいます。 周辺地域の清掃活動 昭和産業グループは、全国各地の事業所、グループ会社において、従業員による周辺地域の清掃活動を定期的に行っています。また、地域イベントへの協賛・参加などを通して、地域の活性化に貢献しています。 その他、地域交流の推進、ワンコイン募金などの取り組みなどを行っています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	環境負荷の低減（水使用量の削減）	地球温暖化の進行、また世界人口が増加する中、「水リスク」は常に上位に位置づけられており、その脅威は年々強まっています。当社グループの事業活動に水資源は必要不可欠であることから、取水による環境への影響を抑制するために、2021年度に設置した「水使用量削減部会」を中心に、水の使用量の削減に取り組んでいます。 海水を除いた水使用量を生産量で除した水使用量原単位について、「中期経営計画23-25」の目標では、当社グループで2025年度までに2019年度比で9%以上削減、そして、2030年度には12%以上削減するという目標を設定しています。 今後も、当社グループでは、限りある水資源を有効利用するため、水使用量の削減に継続的に取り組んでいきます。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	生物多様性保全への取り組み	飼料米による生物多様性保全 飼料分野では、2008年より飼料用米を購入し、配合飼料として養鶏場などに販売しています。昭和産業は、多くの飼料メーカーが使用している玄米だけでなく、モミ米（モミ殻付きの米）も養鶏用飼料として使用しています。モミ米の購入に当たっては、穂が出てからは農薬を使用しないことを生産者に約束していただき、飼料の安全性を確保しています。（毎年外部機関にて残留農薬検査を実施しています。） また飼料用米の水田には、取引先の養鶏場で発生した鶏糞の一部を堆肥として還元しています。鶏糞堆肥は化成肥料と比較して、土中への成分浸透が遅いといわれてます。仮にあっていう間に成分が浸透してしまうと、稲が吸収しきれないまま、それらの成分が地下水に混ざってしまうことになります。鶏糞堆肥ではそうしたことが起こりづらいため、散布による土壌や地下水への影響が少ないと考えております。	参照リンク先
株式会社 だいでイズ	商品・サービスの紹介	「転換期間中有機大豆」の商品化で有機拡大	だいでイズは、有機農業に挑戦する生産者さんが有機JAS認証を取得できるまでの“転換期間中”有機大豆も購入するお約束をし、だいでイズのお客様にこの“転換期間中”有機蒸し大豆を「食べて応援」していただくことで、有機JAS認証取得を目指す生産者さんのハードルを下げることに挑戦しています。もっと手軽に安心な有機農産物が手に入る、そんな未来のために、「転換期間中」有機大豆も買い支える仕組みを続けていきます。	参照リンク先① 参照リンク先②
	商品・サービスの紹介	「コウノトリ育む農法」の黒豆の商品化	だいでイズは、コウノトリの野生復帰に取り組む兵庫県但馬地域のコウノトリ育む農法でつくられた黒豆を商品化することで、活動を継続してもらえるように取り組んでいます。農薬を控える分、病気や害虫からのダメージがありますが、この商品が消費者に応援されることで、産地の取り組みを応援することができます。	参照リンク先① 最終リンク先②
	商品・サービスの紹介	選別で弾かれてしまう原料のアップサイクル	だいでイズでは蒸し豆をメインに製造・販売していますが、その原料の選別工程ではシミやしわがある豆などは使用できず弾かれます。そのような原料を「サクサクきなこ黒豆」や「サクサク抹茶だいで」という商品にアップサイクルしています。また、アップサイクルに積極的に取り組む販売者様と協力して、きなこや豆カレーなどにも使用していただき、食品ロス削減に取り組んでいます。	参照リンク先① 参照リンク先②
	商品・サービスの紹介	もち麦原料を有機化	だいでイズでは、原料の国産化・有機化を促進しています。もち麦についても、以前は国産の特別栽培原料を使用していましたが、2022年～「国産蒸しもち麦」、2024年～「あずきもち麦ぜんざい」に使用するもち麦を国産有機原料に変更しました。	参照リンク先① 参照リンク先② 参照リンク先③
壊結合同会社	商品・サービスの紹介	八百結びプロジェクト	壊結合同会社では、土壌微生物の活性を通じて地球本来の循環サイクルの実現する八百結びプロジェクトに取り組んでいます。地域の畜産農家が排出する糞尿や家庭用生ゴミなど、本来廃棄される有機物を独自のバイオスティミュラントと掛け合わせて付加価値の高い農業用資材（産土・培養水）を生成しています。地域土壌の健康力（微生物活性量の見える化）を整える目的を持って地域農家へ供給することで、無農薬栽培、減農薬栽培をサポートしています。	参照リンク先

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
株式会社日清製粉グループ本社	取組に関する情報発信	農林水産省の加工食品CFP算定実証に参画	株式会社日清製粉ウェルナは、農林水産省が実施する加工食品のカーボンフットプリントの算定実証に2024年12月に参画しました。日清フラワー®の1kgあたりの算定の結果、家庭の調理・喫食におけるCO2e※1 排出量は、製品ライフサイクル全体で44～58%を占めることが実証されました。また、調理方法によって製品ライフサイクル全体でのCO2e排出量に差が生じることが分かりました。 近年、企業の社会的責任として環境・社会問題への対応が必須とされる中、サプライチェーン全体における環境評価も重要になっています。今後も、各調理方法におけるCO2e排出量を把握し、環境配慮型製品の開発指標への活用や消費者への情報発信等を通して、持続可能な社会の実現を目指していきます。 ※1 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を指す単位で、温室効果ガスの発生量を二酸化炭素（CO2）の発生量に換算したものの。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	製品LCAを評価指標として導入	株式会社日清製粉ウェルナは、製品の原料調達から廃棄までの製品ライフサイクルにおける環境影響の算定手法「製品ライフサイクルアセスメント」を製品・施策の評価指標として、国内食品メーカーに先んじて導入しました。 「パスタ乾麺」「パスタソース」「冷凍パスタ」「プレミックス」の4つの家庭用製品カテゴリーについて、第三者機関により妥当性評価を受けた算定方法を用いて、二酸化炭素相当量を算定しています。積極的に情報発信することで、消費者の皆様と共に持続可能な社会の実現を目指します。	参照リンク先
	商品・サービスの紹介	環境に配慮した製品づくり	株式会社日清製粉ウェルナでは、家庭でパスタをゆでる際のCO2排出量削減に貢献する商品やお肉に食感を模した植物性たん白の大豆ミートを使用した商品、バイオマス素材を使用したボトル容器の商品、包装を簡素化・包材を紙化した商品など、環境に配慮した製品を発売しています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	余らせがちな食材を活用したおいしいレシピ	株式会社日清製粉ウェルナでは、おうちの食材を捨てずに使い切って環境におも財布にも優しい、エコロジーでエコノミーなお好み焼き＝「エコのみ焼」レシピなど、フードロス削減や食材活用、時短に繋がる簡単でおいしい「余らせがちな食材活用レシピ」をお届けしています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	製造工程の副産物を作物の栽培に活用	オリエンタル酵母工業株式会社では、イーストの製造にサトウキビから砂糖を搾った残り（糖蜜）を活用しています。さらに、製造工程で発生する副産物（パン酵母培養濃縮液など）を、肥料原料として作物の栽培に活かす取組みを農業法人と協働で進めています。従来の化学肥料を用いた栽培方法に比べ、地力が回復し、作物の根の張りが良くなり、収率や作物の香りが良くなることなどが報告されています。化学肥料を使用しない環境再生型農業を推進するほか、食品残渣のリサイクルループの構築にもつながります。	参照リンク先
株式会社ニッスイ	商品・サービスの紹介	独自エコマークでプラスチック削減へ	2021年3月より、ニッスイグループではサプライチェーン全体でプラスチックの削減に取り組んでいます。製品の容器包装においては、2030年までにプラスチック使用量30%削減を目標に、商品保護や品質保持といった本来の機能を維持しながら、包材のサイズ縮小やフィルムの薄肉化、素材の見直しやトレーレス等の、限られた資源の持続的な利用を進めています。例えば、大きな大きな焼きおにぎりは2021年1月にプラスチックトレーを薄肉化し、年間約7トンの削減につながりました。 環境配慮に対するニッスイの取り組みを広く理解いただくとともに、お客様が環境に配慮した商品を選択できるよう、独自のエコマーク「みらいの海へ」を商品パッケージに表示しています。	参照リンク先① 参照リンク先②
	取組に関する情報発信	食品の寄贈で広がる笑顔	品質に問題はないものの販売に適さなくなった商品をNPO法人へ寄贈し、支援の必要な人々に提供しています。この活動は2008年から開始し、提供している量は年間約6トンにもなります。主な提供品は冷凍食品や缶詰などで、児童養護施設や母子支援施設などの福祉施設に届けられており、喜びのお声をいただいております。本来なら食べられる食品の廃棄削減につながるこの活動を、今後も継続的に行っていきます。	参照リンク先
	商品・サービスの紹介	水産エコラベルの使用拡大	ニッスイグループでは豊かな海を守り、水産資源の持続可能性向上を図る主な施策の一つとして、ASC認証やMSC認証などの取得と、これらの水産エコラベルを表示した水産物の活用に取り組んでいます。 MSC認証水産物を国内で多く取り扱った貢献が認められ、MSCジャパン・アワード2024・2025 メーカー部門を2年連続で受賞しました。	参照リンク先① 参照リンク先②
	商品・サービスの紹介	海から生まれたサステナブルレザー	完全養殖で育てた「黒瀬ぶり」の皮をアップサイクルした、新しい素材「namino leather（ナミノレザー）」を開発し、サステナビリティへの関心が高い欧米や国内のアパレルメーカーなどに向けて新素材としてテスト販売を開始しました。これまで食用として使われていなかった魚の皮を、国内の職人の技で丁寧に革へとよみがえらせています。ぶり特有の細やかなうろこ模様や独特のなめらかさは、バッグや小物づくりにぴったりで、使う人に自然の豊かさを感じてもらえる素材です。天然の稚魚に頼らない持続可能な養殖方法に加えて、生き物や環境にやさしい取り組みでもあります。廃棄を減らし、資源を大切にする工夫から生まれたフィッシュレザーを通じて、未来へつなげるサステナブルな暮らしを広げていきます。	参照リンク先
株式会社ニッポン	取組に関する情報発信	紙トレーに森林認証紙使用	プラスチック使用削減を目的に一部の冷凍食品（パスタなど）の容器をプラスチックから紙トレーに変更し、紙トレー、紙カップにはPEFC 認証紙※1を使用しています。 また、「ニッポン こんな小麦粉ほしかった」、「オーマイ うれしい自然の恵み 全粒粉スパゲッティ」等の包装、社内報やCSR関連の報告書、株主さまへお送りしている事業報告誌などの定期刊行物に環境紙を使用しています。今後も森林管理保全に繋がる取り組みを推進していきます。 ※1 PEFC 認証紙: 国際NGO のPEFC（Programme for the Endorsement of Forest Certification）評議会が適切に管理された木材・木材製品であると認証した紙です。	参照リンク先

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
株式会社ニッポン	商品・サービスの紹介	食品工場副産物活用アップサイクル商品開発	当社は食品工場副産物に高濃度のセラミドが含まれていることを発見して以来、さまざまな食品副産物の活用を検討しています。処分困っている食品工場副産物や粕を分析して含有量が高い成分を探索し、大学や研究機関と共同で研究を行い、その成分の健康機能を証明した後、製品化して素材として販売しています。2021年に「もったいない大賞を受賞しました。当社がこのような食品廃棄物のリサイクルフローを構築している点、抽出された成分が持つ健康機能を数値で証明する技術が評価されたものです。現在も継続して様々な食品のアップサイクルを研究しています。	参照リンク先
株式会社日本アクセス	イベントの開催	フードドライブの実施	当社労働組合と協働して全国の拠点協力のもと、社内で働きかけ、家庭で使わない食品を持ち寄るフードドライブを実施。集まった食品はフードバンク団体様に寄贈し、パントリー活動などに役立てていただきます。	
	イベントの開催	食育授業を実施	地域貢献や次世代育成、食文化の継承を目的として、小学校での食育活動を推進しています。伝統食材である「乾物」をテーマに、子どもたちが食材の魅力にふれながら、心と体の健やかな成長を育むことを目指しています。	参照リンク先
	商品・サービスの紹介	気候変動対策	「照明機器のLED化と太陽光発電システムの導入」「物流合理化・効率化の推進（統一クレート導入）」「センター遮熱塗装によるエネルギー使用量の削減」「配送コースの最適化」など、低炭素社会・循環型社会の実現に貢献します。	参照リンク先
一般社団法人日本協同組合連携機構	イベントの開催	農産物直売所を拠点にした食育活動	一般社団法人日本協同組合連携機構では、食と農の活動集積拠点である農産物直売所で、生産者と消費者をつなぎ、持続可能な地域づくりを目指します。食育活動を通じて、食品ロスの削減や地域の食文化の継承、環境に優しい農業の実現に取り組んでいます。	参照リンク先
	商品・サービスの紹介	食と農をつなぐ人材育成・食育ソムリエ講座	一般社団法人日本協同組合連携機構では、食と農の懸け橋となる人材を育成する「食育ソムリエ養成講座」を実施しています。食育活動を通じて食と農に関する様々な課題の解決に取り組めます。	参照リンク先
一般社団法人日本有機資源協会	商品・サービスの紹介	バイオマスマーク認定商品を知って使おう	バイオマスマークは、植物などの生物由来資源(バイオマス)を使用した製品に表示できる環境ラベルです。事業者は、このマークを表示することで、化石資源の使用量を減らし、再生可能な資源を使用した製品であることを示すことができます。消費者は、バイオマスマーク認定商品を使うことで、間接的に環境保全に貢献したことになります。バイオマスマークは、日本有機資源協会が運営しています。2025年は、サステナブルマテリアル展（11月12～14日、幕張メッセ）※1、エコプロ（12月10～12日、東京ビックサイト）※2に出展します。本物の商品を多数展示しますので、ぜひお越しください。 ※1 https://www.material-expo.jp/tokyo/ja-jp/visit/susma.html ※2 https://messe.nikkei.co.jp/eco-pro/	参照リンク先
日本農業株式会社	商品・サービスの紹介	「たん」とスープ」	「たん」とスープ」は農業からスタートした、農家直営のスープとサラダのお店です。「たん」と野菜を食べてほしい。」人と地球の健康を考えながら、現代人の栄養バランスに配慮してつくっています。わたしたちのスープは、野菜のへたや皮、不揃いの野菜たちも余すことなくじっくり煮込んでつくった野菜出汁「ベジブロス」をベースに、旬の野菜をたっぷり使用しています。また、自社農園のたんとファームでは、農業や化学肥料を使わず、自然の力で野菜を育てています。元気いっぱいのお野菜を余すことなく取り入れたスープを作ることで、農を通じて人と地球を健康にすることに挑戦し続けます。たんとの冷凍スープは電子レンジで温めるだけ、お皿いらずのエコカップを採用しています。オンラインショップでは全国どこからでも、ご注文いただけます。	参照リンク先
フィード・ワン株式会社	取組に関する情報発信	牛乳消費促進への取り組み	フィード・ワン株式会社では、学校の長期休暇中など、牛乳の消費量が落ち込む時期の取り組みとして、社内での呼びかけや、フードバンクへの寄付、自社食育サイトでの牛乳コンテンツ公開・レシピの紹介などを行い、牛乳消費量の拡大に協力しています。その他、本社及び全国の支店において、それぞれの地域で生産された牛乳（常温保存可能牛乳）を購入し、来客の際にお出しするなど、牛乳の消費促進を応援しています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	食品の寄付	フィード・ワン株式会社では、食の支援を必要とされている方々への支援活動として、地域のフードバンクや子ども食堂に食品を寄付しています。	参照リンク先
森永乳業株式会社	商品・サービスの紹介	ロングライフ商品	森永乳業グループでは、おいさと長持ちの両立のため、食品の殺菌と容器の殺菌を別々に行い無菌的な環境で包装することにより、保存料や防腐剤を使用せず賞味期限を長くするロングライフ技術を用いた商品を多数展開しています。その中の1つ「森永絹とうふ」は日常時・非常時の価値を共に有していることを審査し証明するフェーズフリー認証を取得しています。	参照リンク先
	取組に関する情報発信	おからの飼料化	森永乳業グループでは、環境と経済の両面で好循環に向け、豆腐製造時に出るおからに乳酸菌を混ぜて発酵させた飼料をつくり、グループ会社の森永酪農販売が酪農家に販売しています。また、この飼料を給餌している乳牛からの生乳は、生産拠点で原料として使われています。	参照リンク先
	商品・サービスの紹介	環境配慮設計に関する取り組み	2016年度よりレインフォレスト・アライアンス認証を取得しているブラジルのダテアラ農園のコーヒー豆を100%使用した「マウントレーニア・ディープエスプレッソ」を販売しています。レインフォレスト・アライアンス認証農園は、人と自然のより良い未来のため、森林や生態系の保護、土壌や水資源の保全、農場労働者の労働環境、生活や人権の向上などに取り組み、厳しい基準を満たしており、環境・社会に優しい原材料を生産しています。また、付属しているストローもバイオマスプラスチックを10%配合しています。また、アイスクリーム商品の紙スリーブおよび包装箱、飲料や豆腐に使っているアルミ付き紙容器は、すべてFSC®認証を使用しています。	参照リンク先

メンバー名	種類	取組名	取組内容	リンク先
森永乳業株式会社	取組に関する情報発信	物流での取り組み	森永乳業グループは、トラックから鉄道や海上輸送に切り替えるモーダルシフトを推進しています。2021年度に、東京ー福岡間の常温輸送について、トラック輸送から海上輸送に切り替えを行い、車両台数の削減と船舶への転換によってCO ₂ 排出量を77%削減し、年間排出量を約380トン抑制しました。2021年度より、東北森永乳業(株)仙台工場から大阪府の当社委託倉庫間の常温輸送において、トラックから鉄道コンテナ輸送に変更し、CO ₂ 排出量を84.2%減、年間排出量を約65トン抑制しました。 また、パレット積載効率の改善を行っております。主力商品のクレートをダンボールに変更して外装サイズを抑えることで物流用パレット（以下パレット）1枚あたりに積載できる数量を39%増加させ、かつ空となったクレートの返却輸送を不要にしたことにより、輸送におけるCO ₂ 排出量を56%削減し、年間排出量を約800トン抑制しました。	参照リンク先
海外				
明治ホールディングス株式会社	取組に関する情報発信	メイジ・カカオ・サポート	メイジ・カカオ・サポートは、2006年に始まった明治独自の「カカオ農家支援活動」です。カカオ豆生産の持続可能性を高めるために、産地に直接足を運んだり、さまざまなパートナーと協働したりしながら、カカオ豆の品質向上への技術支援や農家の生活向上、地域の環境保全・回復などの社会課題解決に取り組んでいます。カカオ農家支援を実施した地域で生産されたカカオ豆「明治サステナブルカカオ豆」を使用した商品には、パッケージに表記し、「メイジ・カカオ・サポート」の活動をお客さまに分かりやすくお伝えしています。	参照リンク先
森永乳業株式会社	取組に関する情報発信	原材料サプライヤーとの取り組み	チルドカップコーヒー「マウントレニア」は、調達先であるブラジルのダテーラ農園が環境保護のために取り組んでいる植樹事業「Tree_llion_PROJECT（トリリオン プロジェクト）」の理念に共感し、「マウントレニアの森プロジェクト」として、2020～2024年度は毎年15,400本、合計7万7000本を植樹しました。向こう30年で約5,000トンのCO ₂ 削減を見込んでいます。 さらに、2023年のマウントレニア発売30周年を機に、2025年度から毎年約37,200本に植樹本数を増やし、2030年度までに当初計画の約4倍となる合計30万本の植樹に計画を拡大させて、更なるCO ₂ 削減に取り組んでいます。	参照リンク先